



夏の

海岸地方の保育

湯原香代子

海と山に囲まれ温泉あり健康地として恵まれた環境の中に尙衛生的躰を徹底し幼児の健康を充実したいと思つています。

幼稚園として特別な海岸の保育は実施いたして居りませんが時々出かけて経験した遊びを拾いあげてみましょう。午後になれば自由に子供達は家の誰かと出掛ける様に約束してありますので元気で浮輪を肩にかけて行くのが常です。幼い子等の個々の健康状態を充分調べてから出掛けなければならぬ事は云うまでもないことで弱い体の子供達は、はだしにもなれないで、友達を楽しそうな様子を眺めな

がらニコニコ喜んで砂の上に腰をおろしてきます。砂浜での遊びの教々は地方によつてさまざまでしょうが、幼児の砂遊びは最も楽しい遊びのひとつではないでしょうか。丁度しめり工合のよい砂をにぎつて団子をつくる。少しばかりの粘土遊びとは異り自由にどれだけでも手に入る。手をはじめ水にぬらして砂をにぎる紅葉のような形や手のにぎりかたにより図案あそびもあり、池のように砂地を掘つて小魚を入れて喜んだり銀砂をさらさらと盛りあげて大きな山を作りとんねるをこしらえる。また玉ころがしができる。柔かな砂を

たらたらと高くもりあげて、なんだか面白い言葉をくり返したり、こわしてはまた築きあげる。くり返しては笑顔で先生を招く。砂の団子が出来ると団子割りをして遊ぶ。海にうかべたスイカを拾いあげ棒をもつて三回廻わつてたたくなども見られる。小石を並べ家を作つたり、いろいろの工夫された座敷なども面白く出来る。ままごと遊びも始まる。小石を海に投げて輪を面くのをよるこび、岡にあげてある小舟から砂の上に飛びおりて遊ぶ。海草「ほんだわら」など拾つては、ボンボンとつぶして遊ぶ。磯物取りもたのしい「いそつこ」といつています。

又、ふぐつりなど防波堤に腰を下して、あのえさなどをつけて、落ちて置く……水からあげる瞬間、お腹がふくらんで大きくなる、子供達はその瞬間の面白さを味わう。

川岸のあさり取りも、なかなか真剣に、落付かないと、みつつかりません。石についているかきを釘などを持つていつて取る時に足を切つたりする危険があり、よく注意してさがさせる。赤べろ、青べろなどのきれいな小魚、えび、かに取り、小さなバケツを手を網をにぎる、幼い子等の活々とした愛らしい姿もうれし

い。砂浜で足を水につけて砂遊び、砂に画く愉快さ、波が来ては消えてゆく面白さを繰り返す画き遊び、波にたわむれるリズム遊び、小林やつえ先生の作曲なさつた貝拾いは、ほんとうにびつたりと子供に親しまれ、いつも喜ばれます。

暑い砂の中に友達をうずめたりうずめられたりの遊び、わずかに顔だけを出して、ニコニコと笑つて喜ぶ、又先生を熱い砂にうずめる時のうれしそうな、みんなの楽しい力強い作業ぶり、あつくなれば海水に入りまた砂浜にねころんだり、丸くなつてお話が始まる。涼しい舟の蔭できれいな空気を吸つてあたりを見まわしている弱い子等の顔も輝いてみえる。遊びは、それからそれへとつきないが適度な海の遊びがなにより大切で疲労するまで遊ばないよう心掛けねばなりません。五月六月ともなれば暖かい日は珍らしくもない程、海の子らとして、たのしい生活経験を味つています。波をかぶつて泣笑い。板切れをもつて波乗りあそび、水かけあそび。浜には温泉の流れをプールにためてあるのもあり、その中に入りあたまをきれいに洗い流して海水着をぬいで砂のついた下駄もきれいに

洗つて帰ります。

夏の休みの中の集合日には真黒に陽やけした健康そうな体を並べて「黒坊大会」をして誰が一番黒いなどと健康について話合います。皮膚を強くして、冬になつても風を引くことのないようにと鍛えられます。海の遊びのあと注意が大切で眼を悪くしたり、耳に水を入れたりしてはいないかよく調べて手当は常に、おこたりなくしなければなりません。日射病や、腹痛なども特に注意しなければなりません。

海にゆく時も海をあそびのあと幼い子等の個々の健康状態を充分に調査して出来るだけ養護婦や父兄のつきそいでゆくことが安全です。時々出掛けて経験した海の遊びを拾いあげたにすぎませんが、夏の海は子供を呼んでいます。健康にし、しかも、たのしい自然の観察も豊かに社会性も培かれてゆく保育へと今後の研究課題といたしたいと思います。

初夏の海、朝早くまたは夕焼けの頃の地引網を楽しむ子等の姿、沖の方へ舟が、二艘で両方から網をどんどんおろしてゆく、その地引網の手伝も興味あり、エンヤラエンヤラと

声を合せて網を引くリズム楽しい遊戯のひとつである。あたりの小魚のこぼれを拾うのも興味深く、遊覧客も自然に手を出して喜ぶのもほほえましい情景である。時には魚市場の見学も自由に来ます。いるかの大群が押し寄せたり、ぶりのとれた時、鯉舟の入つた時など、大喜びで見学致します。

裏山の蟬の声も、子供は早く聞きつけて海をあそびの間に、蟬取りをまたせがまれて袋を作る先生達の楽しい笑顔もいつもうれい。

土用波の頃ともなれば、海で拾つた貝がらや磯草などの採取物をならべた保育室でピアノを囲んで海の憶い出にいつまでもリズムはなみを打つて居ります。

(伊東市立伊東幼稚園主任)

× × ×

× × ×